

Pharmaizm

ファルマイズム

株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1

Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会

印刷：小野印刷

■ 第110号 ■



参加した医学生(中央)に説明する葛西薬局長補佐(右)

現場の職員から生の声を聞くことができる貴重な機会であると同時に、その事業所や職種が担う役割や民医連の取り組みをわかりやすく学ぶことができます。今後も広く呼びかけて医学生の成長につなげていきたいと思っています。

6月24日(金) 18時より弘前調剤センターにて医学生を対象とした社会保障学習会を開催しました。「病薬連携から見える地域医療」と題して講師は葛西孔明薬局長補佐と葛西祐一主任が務めてくださいました。金曜日ということもあり夜間営業のなか、葛西薬局長補佐からの解説を交えつつ間近で見ながら服薬指導や疑義照会、在宅訪問に関する説明をしてもらい、コミュニケーションの大切さと地域における調剤薬局の役割を学びました。

葛西主任からは実際にあった支払困難事例とそれに対する支援を講義してもらい、地域連携室などの多職種連携の取り組み、民医連医療における「気づきの視点」と「患者様に寄り添う姿勢」の大切さを学びました。

参加学生は1名でしたが、困難を抱えている患者様への介入の意義と難しさを学習したことで、将来的に広い視野とコミュニケーションを大切にした医師になりたいとの感想がありました。

事業所訪問による学習は、

県連医学生を育て増やす大運動

県連弘前事務所 齊藤 駿介

日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 in 東京

弘前調剤センター 薬局長 相馬 渉

6月11日(土)〜12日(日)、第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会は多くの参加者が全国から集まり、東京の浅草で盛大に開催されました。この大会は、医師を中心とし、その他のコメディカルが多数参加していることや、ワークショップ(WS)などを取り入れ教育に力をいれていることが特徴です。



ポスター発表をする相馬薬局長

私は、在宅医療というテーマで、ポスター発表しました。いろいろなシンポジウムやWSに参加して、たくさんの方の刺激を受けてきました。その中で、アンガーマネジメント入門のWSを紹介します。

少子高齢化によって、医療・介護従業者は日常業務に加え、在宅医療や健康啓発など多様化する医療・介護ニーズにこたえるために、様々なストレスにさらされています。ストレスや怒りの感情が強ければ、生活や仕事、人間関係に影響をおよぼすケースもあります。日常生活や日常業務を通して「イライラ」や「怒りの感情」は、ひとの感情である「4つの感情：喜怒哀楽」

のうち、とりわけ取り扱いが難しく、集中力を低下させミスに繋がったり、自責行動をとったり、他者に対して望ましくない行動や言動をとってしまう、その結果のコミュニケーションに支障をきたすこともあります。

しかし、『怒りの感情』と上手につきあうことができれば、『イライラした感情』から開放されます。集中力を高めることでパフォーマンス性やモチベーションを高めることができます。このWSのグループワークやディスカッションで、自身の「怒りの感情」を上手にコントロールすることにより、セルフケアを行い、自分にとって大切な存在である家族や共に働くスタッフとのコミュニケーション向上、患者様の満足度向上

いについて報道しないため、あらためて私たちが伝えていかなければならないと確信しました。

県社保協学習会「税民投票で日本が変わる」

取締役総務部長 崎野 修

6月11日(土) アピオあおもりで県社保協主催の学習会が開催され、講師に立正大学教授で税理士の浦野広明氏を迎え「税民投票で日本が変わる」という演題で学習しました。浦野氏は「税とは何か? 何のために払うのか?」という根源的な問題について歴史と憲法の視点から「日本国憲法の原則に基づき、全ての税は社会福祉目的でなければならぬ」と主張しており、深く共感することができました。演題の「税民投票」とは

聞き慣れない表現ですが、安倍政権による異常なまでの大企業優遇と社会保障切り捨てによって拡大した貧困と格差を克服するために、応能負担による国民本位の税のあり方に戻すことが大切であり、国民自らが選挙で意思表示することが重要だと述べていました。最後にマスコミは税金の無駄使



講師の浦野広明氏

岩手出身、5月19日生まれ、八戸に13年住んでいました。大の犬好きで大型犬が好きですが、飼っているのは小型犬です。全く分からないことだらけでたくさんご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いします。



弘前調剤センター 横山 愛

とても嬉しく思っています。先輩方に教わりながら、日々成長していきたいと思っています。特技は鶴を折ることなので、「千羽鶴」心を込めて折りたいと思います。



弘前調剤センター 成田 直美

新人紹介

をはかることを体験しました。今年度の薬剤師委員会主催の管理者研修で、こちらの研修を企画する予定です。ぜひ、多くの方に参加してほしいと思います。

「平和安全法制廃止決起集会」 「戦争法廃止集会・パレード」に参加して

弘前調剤センター 薬事課 三上 菜美



ファルマ9条の会代表として決意表明を述べた崎野部長

6月14日(火) 弘前市民会館で行われた「平和安全法制廃止決起集会」に参加しました。総勢66名の参加があり、共産党の安藤晴美氏・民進党の山内崇氏・社民党の加藤とし子氏から挨拶がありました。その後、津軽保健生協・ファルマ9条の会・憲法9条つがる女性の会より決意表明があり、皆さん共通しておっしゃっていたことは「戦争法廃止と立憲主義を取り戻す」ということでした。

安倍政権は戦争法を成立させ「戦争する国」にしようとしています。憲法は国家権力を縛るものであり国民を縛るものではありません。そして現在、怖いことに参院選を前にして安倍首相は「憲法改正」には触れず、狙いを隠しています。2012年に安倍政権が発足してから「幸福・安心」という言葉は消え、嘘だらけ

の政治が続いています。マスコミは現状を100%伝えることができていません。私たちが集会やアピール行動等をしてより多くの人に伝えていくべきだと感じました。

6月19日(日)「戦争法廃止集会・パレード」では約90名が集まり、あのファルマレンジャーも参加し、沿道や車内から手を振って下さる方が多く、和やかなムードでもとても良いアピールができたと思います。「無関心でいること・選挙に行かないこと」は今の政治を認めることであり戦争法を推進することに繋がりがありません。

今度の参院選で選挙の大切さを学び、声を上げ行動し幸福と未来の為に取り組む国会議員を選び多くの活動が大切だと思いました。また戦争法を廃止させなければならぬと改めて感じた集会でした。



日差しの強い中、多くの職員が参加しました

県連介護福祉士研修交流会

弘前調剤センター 薬剤師 盛 友利恵

6月19日(日) 花岡農村環境改善センターで県連介護福祉士研修交流会があり、昨年問題になった、あずみの里訴訟問題に関する講演が行われました。老人ホームで、おやつのドーナツをのどに詰まらせ、利用者を窒息死させたと食事介助にあたった准看護師が「業務上過失致死」容疑で起訴された事件です。長野県弁護士会の渡邊恭子弁護士よ

り、概要や争点の説明がありました。介護現場で働く職員を犯罪者にすることで、介護サービスは委縮し、大切な働き手が失われる恐れがあります。また、事故につながる利用者を拒絶し、安易に食事を流動食へ切り替えるなど、豊かなサービスを妨げる可能性があります。

この裁判には介護の未来が

原発・核燃からの撤退

弘前調剤センター 薬事課 中西 将太

6月11日(土)、アスパムにて開催された核燃料サイクル施設立地反対連絡会議学習会に参加しました。日本原子力研究開発機構・労働組合元中央執行委員長岩井孝氏を講師に核燃料サイクルの構造

や危険性について学んできました。核燃料サイクル施設では、地震等の自然災害での電源喪失による、放射性物質の漏洩の危険があります。中には、設計ミス、操作ミス等の人為



研修の様子

県連薬剤師中期研修

弘前調剤センター 薬剤師 佐藤 武志

7月2日(土) 浪岡中央公民館にて、県連薬剤師中期研修が開催されました。

前半は、新薬について様々な文献を参考にし、薬剤師の観点から安全性・有効性などスモールグループディスカッションで評価し、理解を深めました。メーカーのうたい文句を鵜呑みにしてはいけないと感じました。

後半は、普段調剤している神経科の薬について講演していただき、世界と比べ日本ではどれくらい使われているかなど確認し、改めて適正に使用されるべきだと再認識させられました。

これからも患者様のために少しでも安全な薬を提供するために学習していきたいと思える研修でした。

かかっているといっても過言ではありません。患者様のために誠心誠意業務を行っている職員のためにも、応援したいと思います。



講師の渡邊恭子弁護士(右)



講師の岩井孝氏

写真紹介

ファルマ事務職員目標発表会

6月13日(月) ファルマ会議室にて事務職員目標発表会を開催しました。新築局建設も視野にいれながら各自の今年度の目標について発表しました。最後に、役員・事務長の皆様から講評をいただきました。



目標発表会の様子

県薬「ダメ。ゼッタイ。」 麻薬・覚せい剤 撲滅キャンペーン

6月26日(日) さくら野弘前店にて県薬「ダメ。ゼッタイ。」麻薬・覚せい剤撲滅キャンペーンが開催されました。当日はファルマからも多くの薬剤師が参加し、薬物乱用の防止を訴えました。



他にもたくさんの薬剤師が参加しました!

わたしのお気に入り

弘前調剤センター 薬局長補佐 葛西 孔明

思えば、片付けができない人生を送ってきました。開けたら閉める。出したらしまう。そんな簡単なことを身近な人間に長年言われ続けてきた気がしてならない。

前回の社内報に掲載していた家の掃除の出来ない住人が私だ。自分の机を見れば一目瞭然だろう。自覚もしている。ただ言わせていただきたい。罪悪感がないわけではない。反省もしている。近々まとめて片付けようとも思っている。いつもご迷惑をおかけしている皆様へこの場をお借りしてお礼とお詫びを申し上げたい。

こんな自分でも料理には興味がある。お気に入りには蕎麦だ。蕎麦は冷たいのに限る。間違いはない。そばつゆの「かえし」には醤油、みりん、砂糖を、「だし」には鰹節、鯖節などを使う。銘柄、配合等を変えることで味は無限に広がる。これが実におもしろい。そして蕎麦打ちだ。イメージは十分できている。ただ実践したことがない。家が汚れることになるだろう。新築にはリスクが高すぎる。その後の掃除を考えると悩ましい。やりたいこととやりたくないことの共存。圧倒的矛盾。このような局面にたびたび遭遇すると思ってしまう。人はおもしろい生き物だと。

そんな私のお気に入りには「鹿島アントラーズ」というチームだ。ちなみに私はサッカーをやったことはない。



わたしはこういうちょっと狭い所に入るのがお気に入り☆